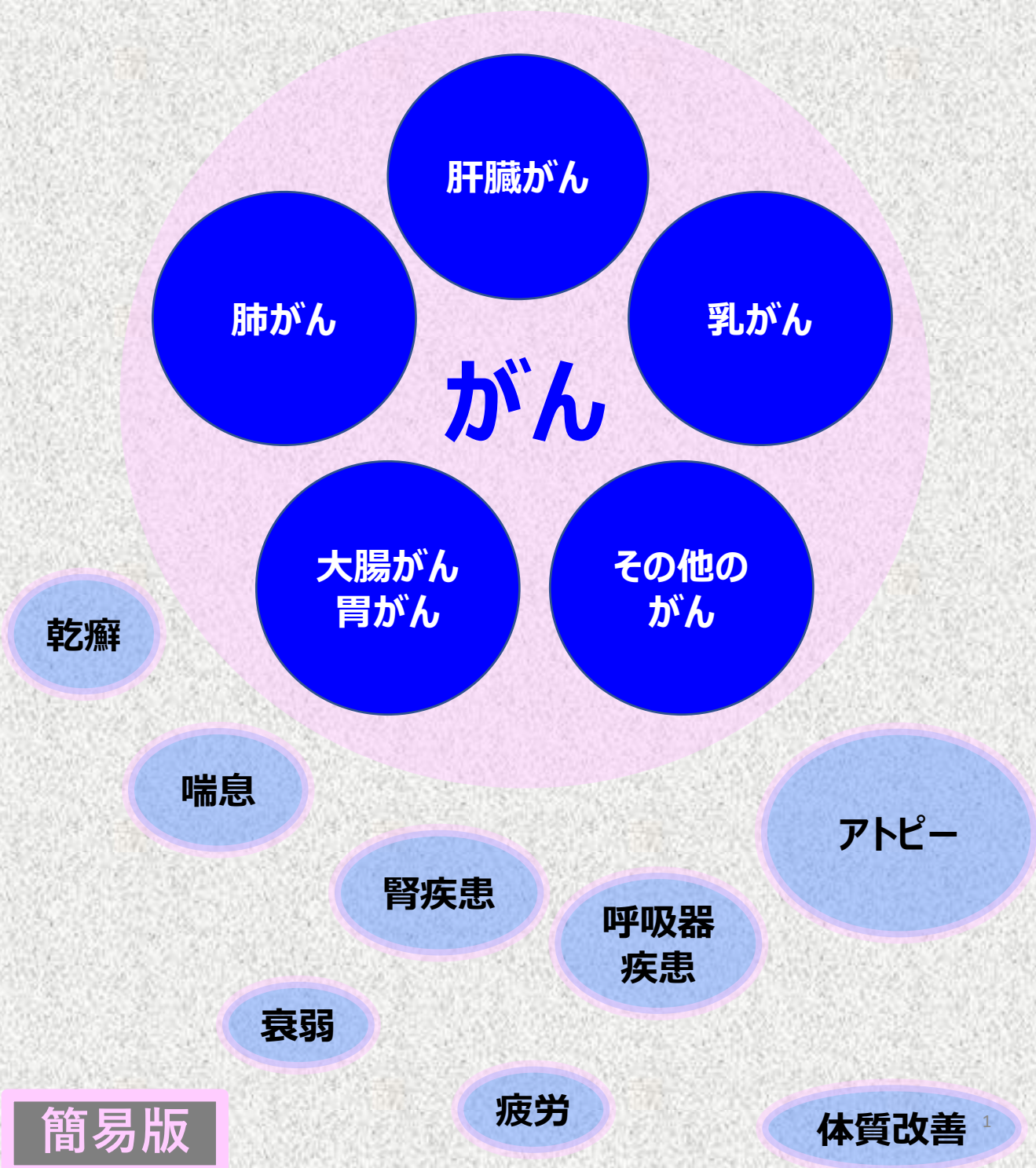


抗がん**エビデンス**を蓄積し続ける

フアイア (Huaier)

エンジュの老木に寄生するキノコの菌糸体からの抽出物

他の領域でも**エビデンス**が！



目次

- 1 抗がんエビデンスを積み重ねるファイア
- 2 ファイアの抗がん作用
- 3 ランダム化大規模臨床研究が最大の説得材料
- 4 いろいろながん種に対する効果
- 5 ファイアの抗がん作用に対する進行中の臨床試験
- 6 抗がん領域以外での効果
- 7 中国での効果・効能
- 8 ファイアの歴史
- 天然のファイアを求めて安国（中国）へ

注) このパンフレットは一般向けに簡略化したものです。詳細につきましては、医療関係者向けおよび原著論文をご確認いただけますようお願い致します。

1 抗がんエビデンスを積み重ねるフアイア

2018年5月に超一流英文雑誌GUTに肝臓がんの手術をした後の患者さん1,000人に対する特別な臨床試験の結果が掲載され、フアイアに抗がん作用がある事が確認されました。GUTは消化器領域では最高峰の雑誌になります。

約1,000人の肝臓がん手術後の患者さんをフアイアを服用する群と服用しない群に分けて、その後の経過を追うと、フアイアを内服した患者さんが明らかに長生きしたという結果が出ました（後述）。

そして、肝臓がん以外の様々ながんに対しても、同じよう多くの患者さんで臨床研究を現在行っています（後述）。そして乳がんに対する臨床試験では本物のフアイアと、フアイアの成分を含まず、フアイアそっくりで区別がつかない偽の薬を用いた試験を行っています。そして、医師も、服用する患者さんも本物のフアイアか偽のフアイアかが分からないという、もっとも結果が信頼できる方法で試験を行っています。

GUTの掲載された論文の試験では、残念ながら偽の薬を使う試験は行っていません。くじびきでフアイアを服用する患者さんと、服用しない患者さんを決める方法で試験を行っています。この方法でも十分に信頼できる結果が出る方法です。

患者さんで効果がある事がわかりましたので、なぜ効果があるか、患者さんの体の中でどんな事が起こっているかに興味が湧きます。この順番が大切で、基礎的研究で抗がん作用があっても、実際に患者さんに試してみると聞かない事が遙かに多いのです。

フアイアの抗がん作用は2015年と2019年に英文でレビューが出されています。その2つの要点を和訳したものを、一般の方にもわかりやすくまとめて紹介します。**このパンフレットは一般向けに簡略化したものです。詳細につきましては、医療関係者向けおよび原著論文をご確認いただけますようお願い致します。**

フアイアはまず肝細胞がんの効果がある事がわかりました。今後、乳がん、肺がん、消化器がんなどに対する結果が発表されます。ますますフアイアの抗がんエビデンスが積み重なり、がん治療の一役をフアイアが担うことを願っています。

<参考文献>

フアイアパンフレットPDF版
URL

[Gut](#). 2018 Nov;67(11):2006-2016 IF 17.943

Effect of Huaier granule on recurrence after curative resection of HCC: a multicentre, randomised clinical trial.

<https://gut.bmj.com/content/gutjnl/67/11/2006.full.pdf>

Cancer Management and Research 2019;11 1541–1549 IF 3.702

Trametes robiniophila Murr: a traditional Chinese medicine with potent anti-tumor effects

<https://www.dovepress.com/trametes-robiniophila-murr-a-traditional-chinese-medicine-with-potent-peer-reviewed-fulltext-article-CMAR>

[Oncol Rep](#). 2015 Jul;34(1):12-21 IF 2.301

The anticancer effect of Huaier (Review).

<https://www.spandidos-publications.com/or/34/1/12/download>

2 ファイアの抗がん作用一覧

* どのようにがんが小さくなるかの一覧です *

- 2-1 抗腫瘍作用
- 2-2 転移抑制作用
- 2-3 血管新生抑制作用
- 2-4 アポトーシス（細胞死）誘導作用
- 2-5 がん幹細胞の抑制作用
- 2-6 腫瘍特異的免疫調節作用
- 2-7 免疫刺激性サイトカインのT細胞増殖促進および分泌促進作用
- 2-8 M2マクロファージからM1マクロ
- 2-9 フェージへの分極の誘導作用
NK細胞活性の増強
- 2-10 ファイアの抗がん作用のメカニズムのまとめ

2-1 ファイアの抗増殖作用

ファイアにはがんが増えるのを止める作用があります。つまり、ファイアを服用するとがんが増えませんが

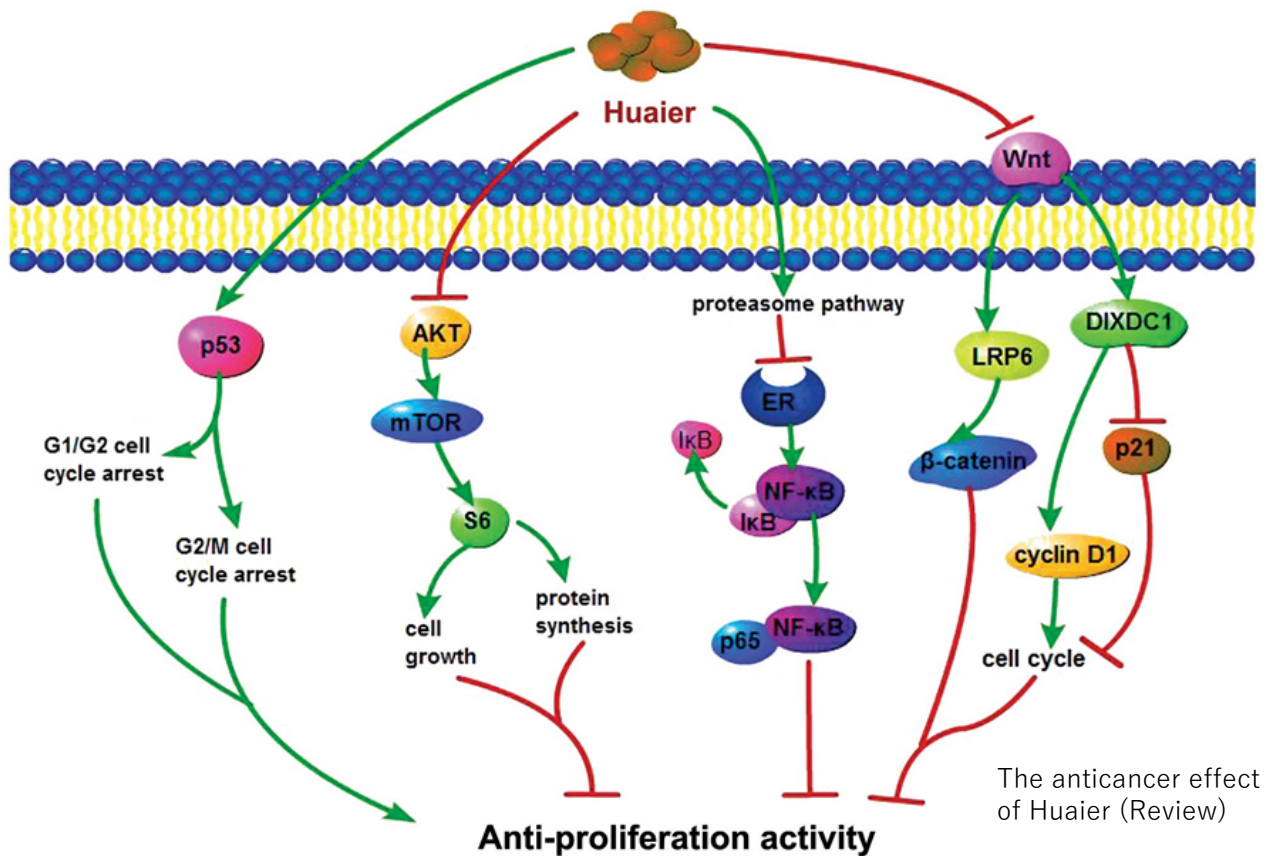


図1の解説

ファイアががん細胞が増えるのを止めるルートを示した図です。

さまざまなルートでがんが増えるのを抑える事が出来るのがファイアの特徴です。さまざまなルートがある事で、いろいろなしゅるいがんが増える事ができますし、より強くがんが増えるのを抑える事ができます。

2-2 ファイアの転移抑制作用

ファイアは、がんが他の場所に転移するのを抑える作用があります

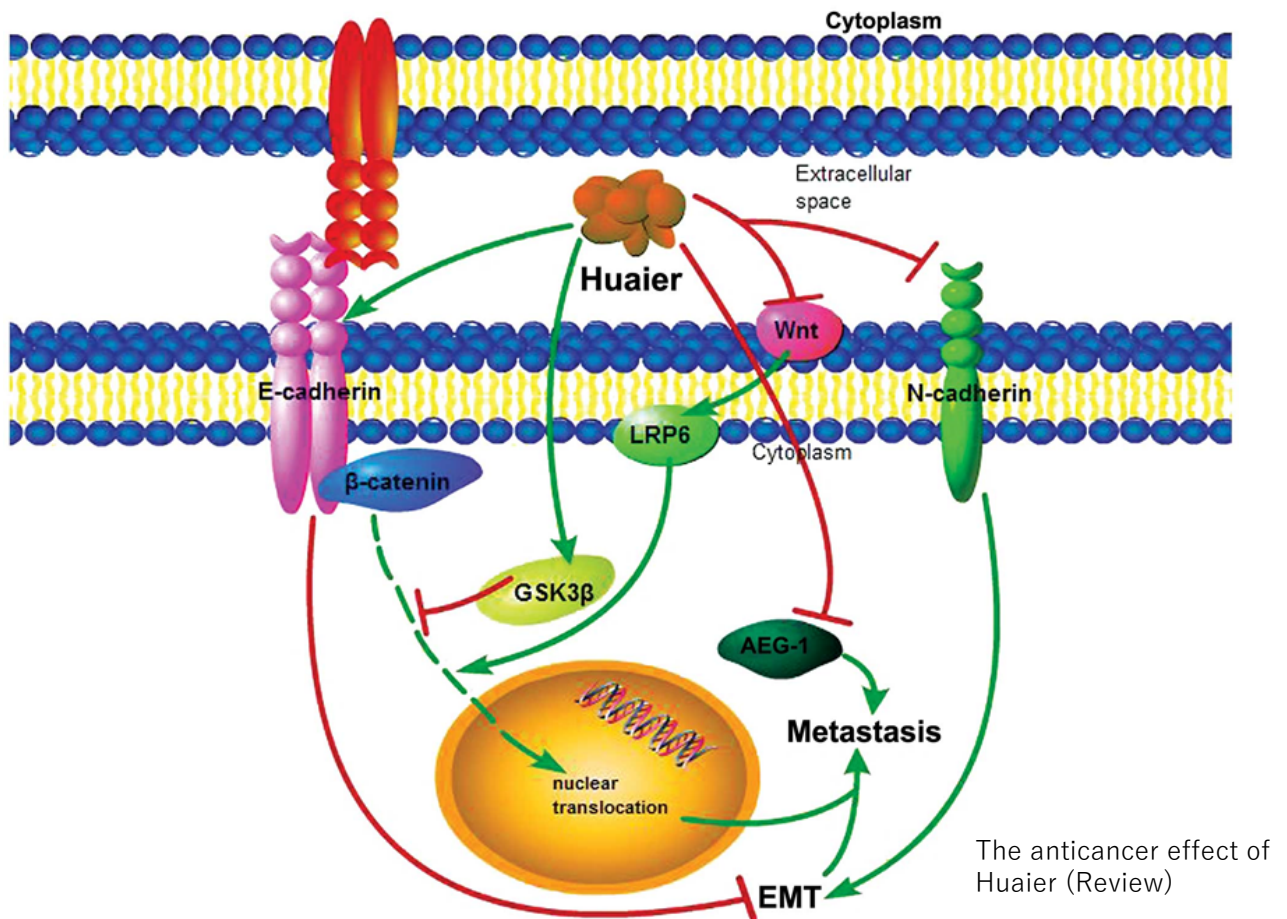


図2の解説

ファイアがどのようにして、がんを他の場所に転移させないかを示した図です。

ファイアは、さまざまなルートでがん細胞の運動性を低下させます。つまり、ファイアはがんが運動するのを抑えて、がんが広がっていったり、他の場所に転移するのを防止します。

2-3 ファイアの血管新生抑制作用

ファイアはがんに栄養を与える血管を作るのをおさえる作用があります

がんは新しい血管を作って、がん細胞に栄養を与えて大きくなっていきます。ファイアを服用すると、がんが新しい血管を作るのを抑え、がん細胞に栄養がいかなくなり、がん細胞が死んでいきます。

2-4 ファイアによるアポトーシス（細胞死）誘導作用

ファイアによりがん細胞が自然に死にます

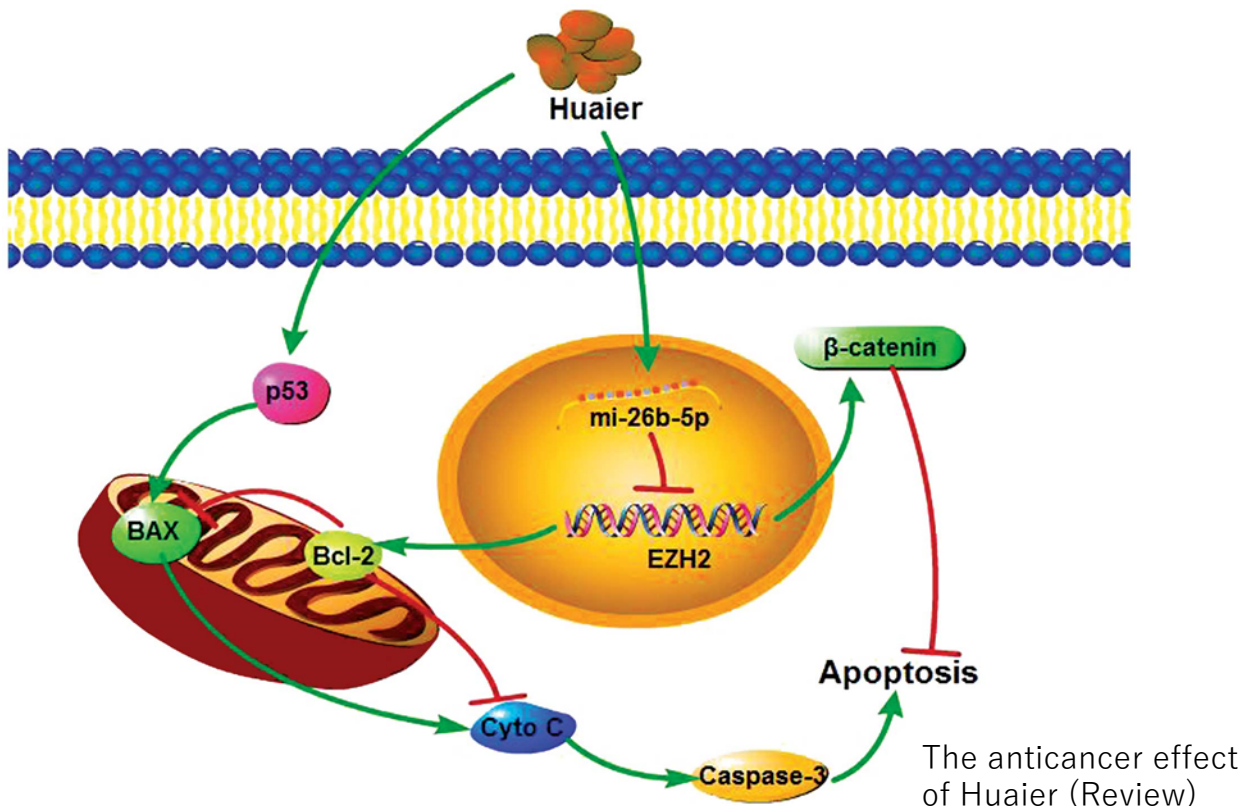


図3の解説

ファイアにより、さまざまながん細胞が自然に死ぬ過程を示しました。ミトコンドリアが重要な働きをしている可能性があります。

2-5 ファイアによるがん幹細胞の抑制作用

ファイアは、がんの再発や転移の主体となるがん幹細胞の働きを抑えます

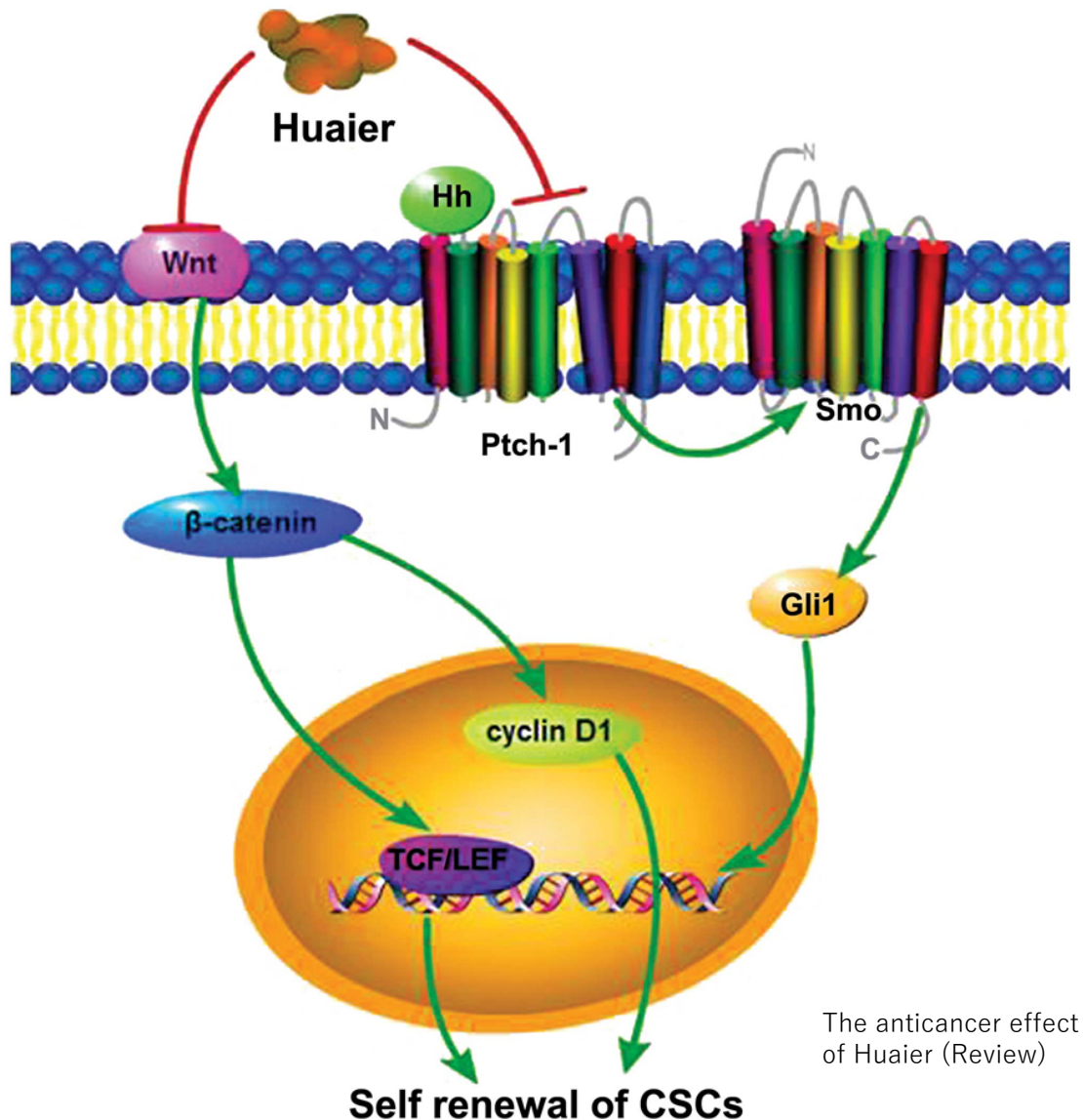


図4の解説

ファイアが、がん幹細胞（Cancer stem cell, CSC）を消滅させるルートを示しました。がん幹細胞は抗がん剤では死滅せず、生き残って再発・転移を繰り返す元凶で、がんの製造工場とも言える細胞です。ファイアはこの細胞を消滅させるのに有効です。

2-6 ファイアの腫瘍特異的免疫調節作用

* ファイアは、自己の免疫細胞に働きかけてがんに対抗する力を高めます *

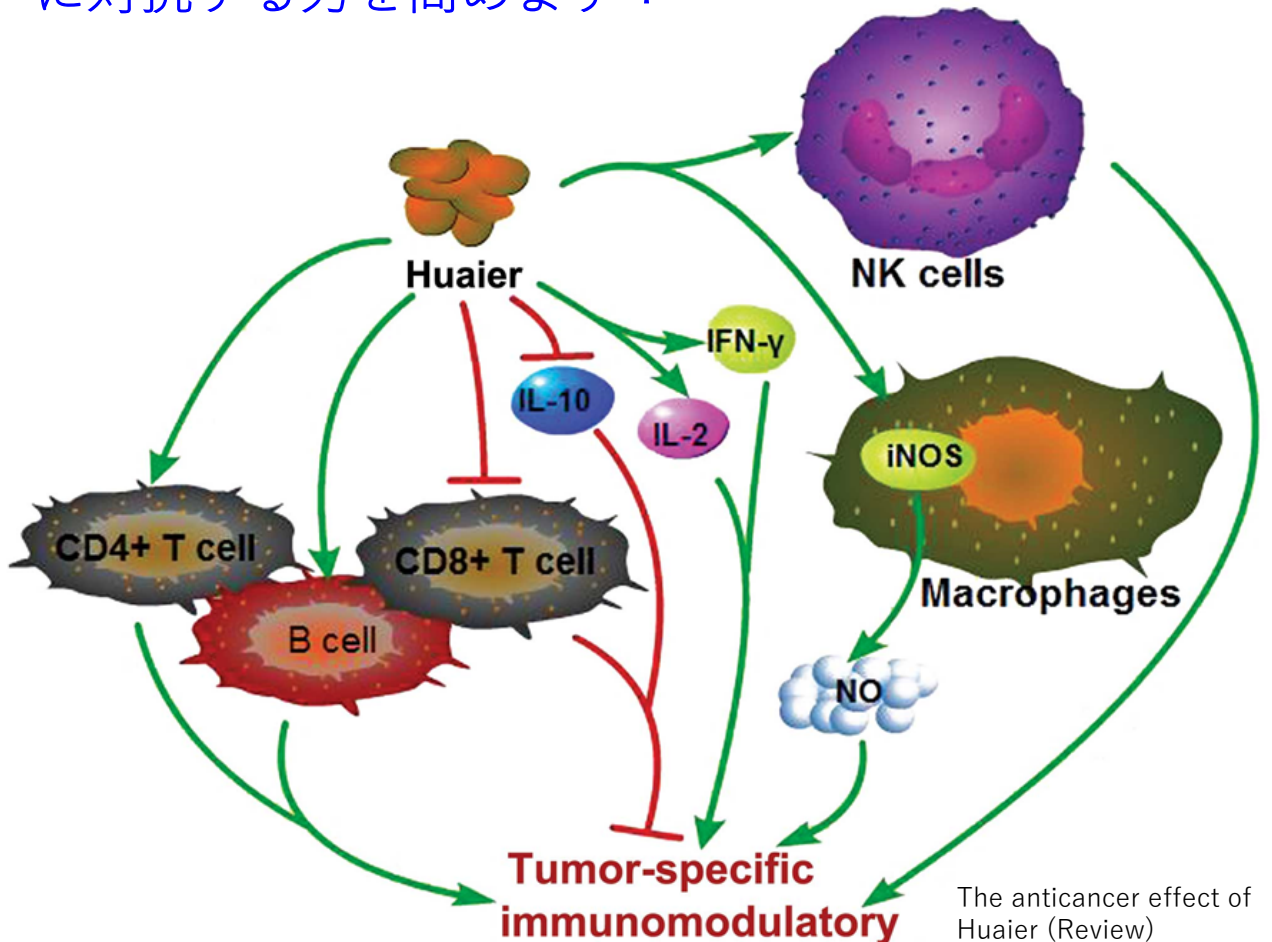


図5の解説

人間の体にはがんに対抗する事ができますが、この免疫システムをすり抜けてくるがん細胞もあります。ファイアはリンパ球を優位に活性化します。Tリンパ球またはBリンパ球を増やし、NK細胞（ナチュラルキラー細胞）を増やして自己の免疫細胞に働きかけてがんに対抗する力を高めます。

ファイアは中医学（中国の漢方）の歴史のなかから発見された抗がん新薬です。いろいろな成分がファイアに存在しているので、ここで述べているような複数の作用機序が存在します。そしてさまざまな機能が複合的に働いて、人での試験で総合力を発揮しました。エビデンスがある外科治療、放射線治療、そして抗がん剤治療と、エビデンスを積み重ねるファイアを併用することはとても理に敵っています。

2-7 免疫刺激性サイトカインのT細胞増殖促進 および分泌促進作用

*** がんに対する免疫による攻撃力を高めます ***

ファイアで処置をすると、免疫刺激性サイトカインのT細胞が増殖したり分泌が促進されます。T細胞はさまざまなサイトカインを分泌することによって調節に関与し、がん細胞に対する直接的な「キラー」として存在します。

2-8 M2マクロファージからM1マクロファージ への分極の誘導作用

*** マクロファージのがんに対抗する力を引き出します ***

M2マクロファージはがんに対しては新しい血管を作り、免疫を働かなくしてがんを大きくします。ファイアはこのM2マクロファージの働きを抑えて、抗がん効果を発揮するM1マクロファージを増やしてがんの進行を抑えます。

2-9 NK細胞活性の増強

*** 発がんの予防になるNK細胞を増殖させます ***

NK細胞が血液中に少なくなることは、がんのリスク増加と関連しています。しかし、ファイアはNK細胞の数および活性の両方を増やします。がん治療におけるファイアの免疫調節効果を増強します。

2-10 ファイアの抗がん作用のメカニズムのまとめ

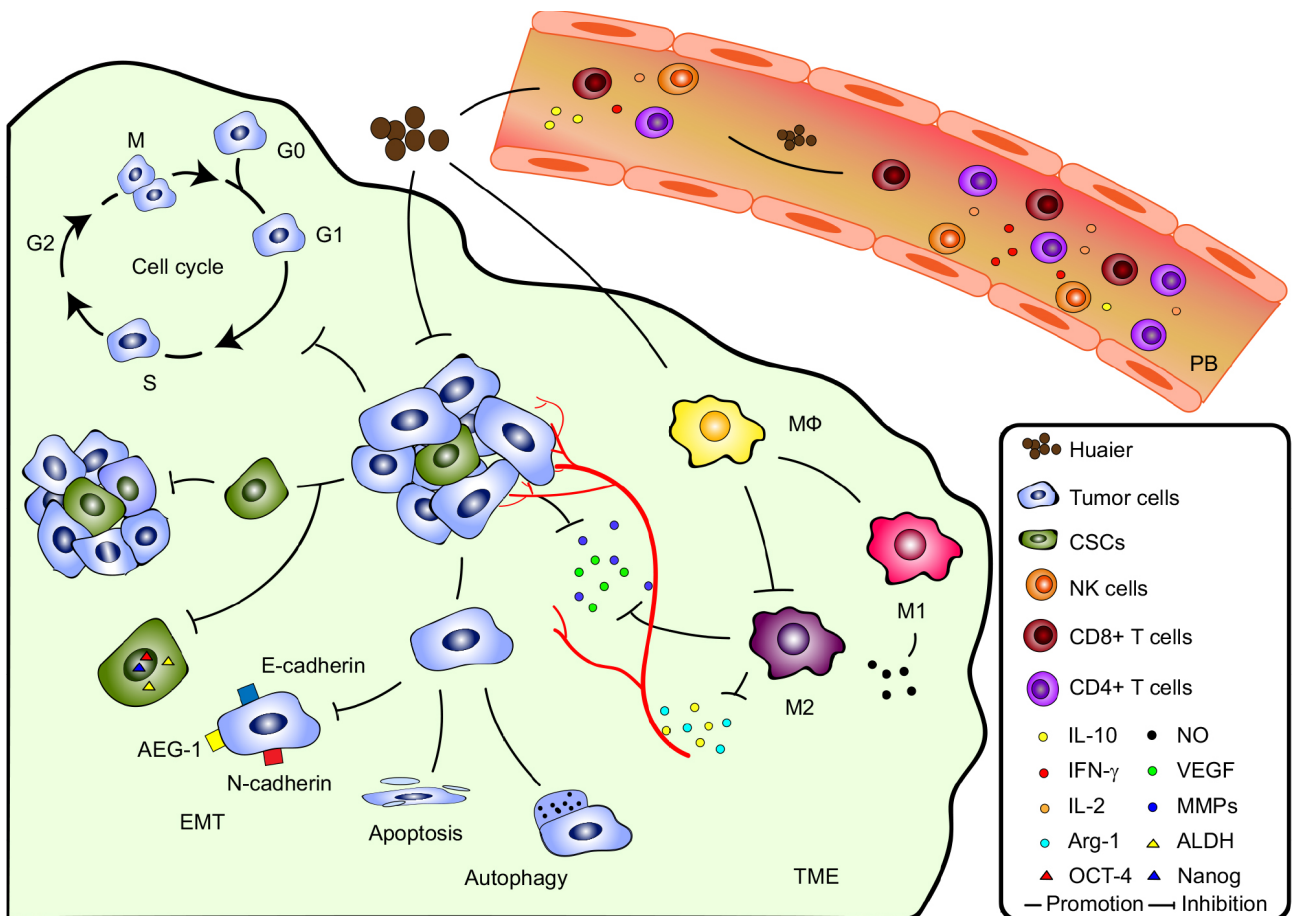


図6 ファイアの抗がん作用まとめ

Trametes robiniophila Murr: a traditional Chinese medicine with potent anti-tumor effects

ファイアはさまざまな段階ではたらくことによってがんの進行を直接抑えることができます。ファイアはまた免疫を調節することによって間接的にも抗がん効果を発揮することができます。

3 ランダム化大規模臨床研究が最大の説得材料

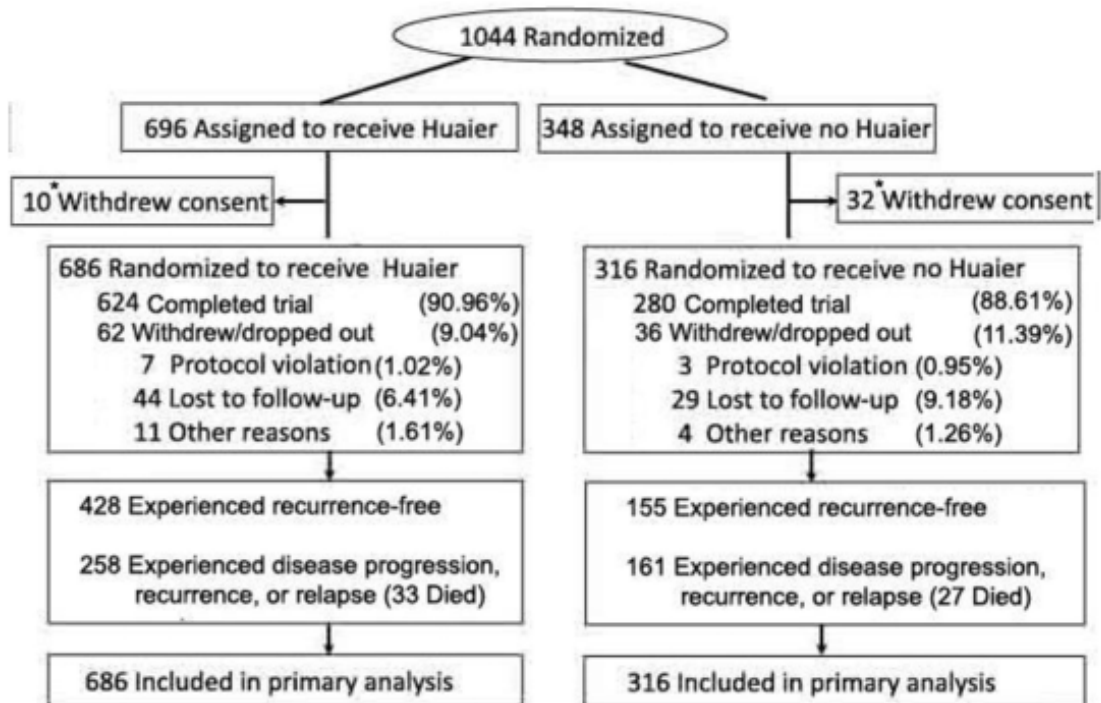
3-1 肝細胞がん手術後のランダム化臨床試験

2018年英文医学雑誌GUTに掲載されたフアイアの抗がん作用に関する臨床研究は、ランダム化臨床研究という信頼できる方法で実施されました。39施設での根治手術後の肝臓がん患者さん1,044人に対して、フアイアを飲んだ患者さん686人と飲まない患者さん316人を比べました。**再発なしで生きている患者さん**を第一の評価項目に、生きている患者さんを第二の評価項目にしての解析です。

96週後までの**再発なしで生きている患者さんの割合**はフアイアをのんだグループで62.39%、のまなかったグループでは49.05%となり、**明らかにフアイアをのんだ方が有利という結果**でした。また、96週後の生きている患者さんの割合はフアイアをのんだグループで95.19%、のまなかったグループで91.46%と、こちらでも明らかにフアイアをのんだ方が有利という結果でした。96週までの肝臓以外でのがんの再発率は、フアイアをのんだグループで8.60%、のまなかったグループで13.61%でした。フアイアは、1回20グラムを1日3回、毎日のみました。

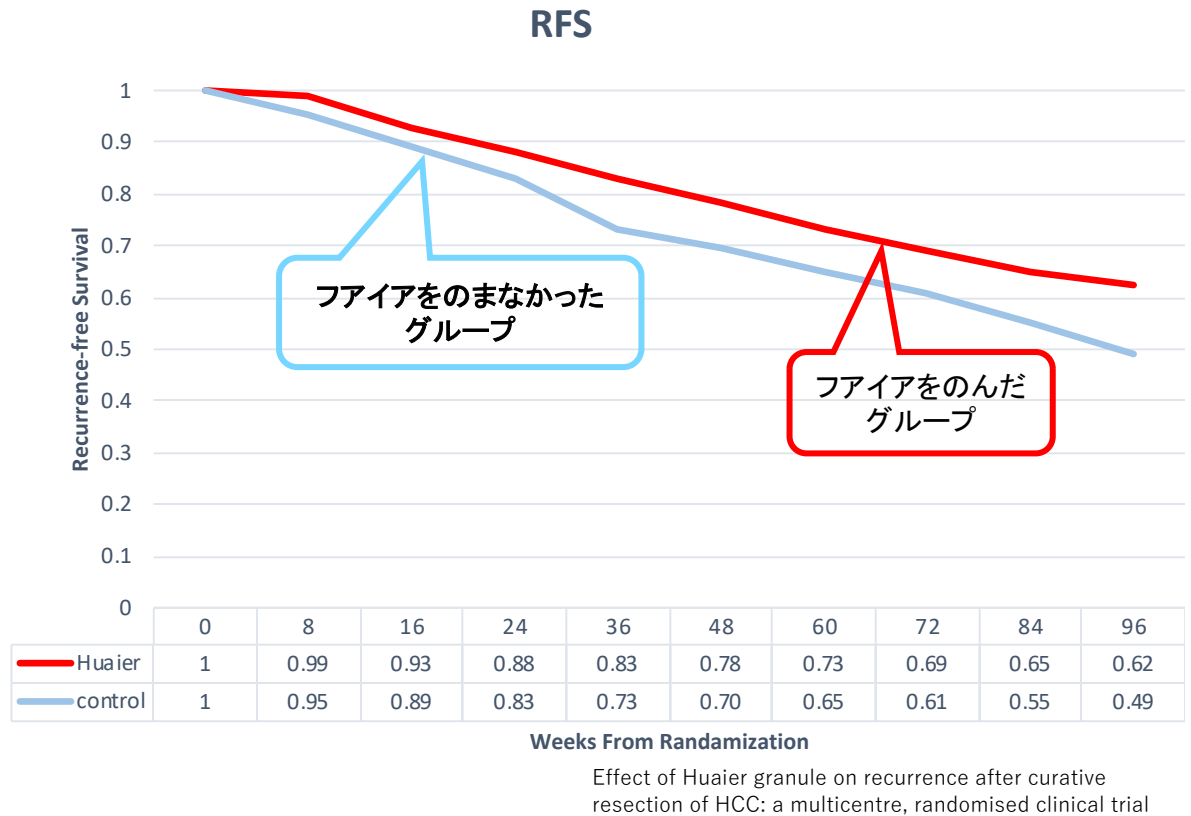
PubMedでフルテキストが閲覧可能です

Enrolment and outcomes. * indicates the withdrawal of consent prior to randomisation.



Qian Chen et al. Gut 2018;67:2006-2016

3-2 ファイアの無再発生存率上昇効果



再発なしで生きていた患者さんの割合を96週まで示したグラフです

1992年にファイアが中国政府から抗がん新薬として認められ、がんを患う患者さんに多数使用されました。そして臨床医が効果があることを確認し、その報告は多数行われています。しかし、槐の老木に生えるキノコの成分に強力な抗がん作用があるということを知ってもらうのは難しいのです。日本でもファイアをがん患者さんに使う医師はいますが稀です。もちろん、ファイアを使っている医師からは、通常ではあり得ないような奇跡のような症例が報告されています。しかし、がんを患う患者さんはいろいろなことを試しています。そして日常の生活管理も精一杯努力しています。

外科治療、放射線治療、そして薬物治療は効果があることを説得できる大規模な臨床試験を行っています。がん患者さんはいろいろなことを試みます。少しでも効果があると期待されることを積み重ねて、がんを闘っているのです。そういう状態である治療が明らかに有効であるという大規模臨床試験の方法があります。今回、ファイアの肝臓がんでの効果はこの方法で確認され、ファイアは外科治療、放射線治療、そして薬物療法へ近づきました。しかし、まだまだ効果を確認する試験を続ける必要があります。

2018年以前のファイアは、誰もが納得する試験が行われていませんでした。今、効果があると思われるものの中には、ファイアと同じように効果を確認する試験を勝ち抜いてくるものがあるかもしれません。

3-3 英文雑誌GUTの編集長 Emad El-Omar教授の特別寄稿の和訳 GUTの編集長が中国医師報に特別寄稿

肝細胞がんは世界的な殺人者であり、特に中国で数百万人の命を奪う。がん治療の進歩にもかかわらず、依然として大きな障壁がある。潜在的治癒手術はある程度の希望をもたらすが、早期再発は患者の70%の命を奪う。潜在的治癒手術後のアジュバント化学療法は残念な結果である。代替りの治療が緊急に必要とされており、他のがんで用いられている伝統的な治療法にいくつかの回答を求めるべきことは理に適っている。伝統的中医学（TCM）ではフアイアはよく知られており、また十分に研究されている。フアイアは早期の光明を示したが、最初の研究は小集団で観察期間は短かった。Chenらによる最近の研究が私の医学雑誌GUTに掲載された理由は、この研究が最大の多施設、無作為、二群間の第IV相臨床試験であることだ。それは臨床的に重要な利点を示し、これは中国だけでなく、肝臓がんの世界的な分野で歓迎されるだろう。

この研究が非常に徹底したピアレビュープロセスを受けたことが重要である。5人の国際的な専門家がこの論文をレビューし、全員がレビュープロセスの終了時にすべて満足しており、必要な改訂後に、この研究がGUTに掲載されるに値することを示している。発見されたものが本物で関連性のあるものでなければ、このような厳しいレビューを受けるとほとんどの論文は生き残ることができない。したがって、このレビューを通過したこの原稿をGUTに受け入れることを私たちは歓迎した。

GUTの編集長として、私はこの原稿が私の雑誌で受け入れられていることを個人的に非常に喜ばしく思った。最も厳しい研究方法論を遵守している限り、私たちは偏見なく、私たちの専門分野における科学的進歩に貢献することを誇りに思う。伝統的中医学（TCM）には多くのものがあり、中国での厳格かつ十分に管理された臨床試験の出現により、世界は中国の医師とその伝統的な実践の知恵と卓越性から恩恵を受けるだろう。

中国の同僚たちが世界と共有している驚くべき進歩と発見に敬意を評したいと思う。GUTの編集長（2010年以降）の任期中、私は中国の科学と医学の大きな変革を目撃した。私は、中国がGUTにアクセプトされた論文の最高の寄稿者の1つであることを誇りに思う。長年にわたって中国の同僚を訪れる時間と労力を鑑み、私は本当に友人である彼らに敬意を表し祝福する。

Professor Emad M El-Omar

Editor in Chief, Gut

超一流英文雑誌の編集長がコメントを公表することは稀です。ここでは、このコメントをあえてそのまま掲載します。これは編集長Emad El-Omar教授が中国医師会会報に特別寄稿したものです。伝統的中医学の叡智の中からフアイアが現代医学と同じ方法で臨床試験を行い、その効果がある事を示したことに最大限の敬意を表しています。そして世界の人々に恩恵を与えるだろうとコメントしています。

4 いろいろながん種に対する効果

がん種	英文論文
腎がん	The Anticancer Effect of Huaier Extract in Renal Cancer 786-O Cells. <u>Pharmacology</u> . 2018;102(5-6):316-323 IF 2.896
消化器がん	システマティックレビュー The effects of polysaccharides from <i>Auricularia auricula</i> (Huaier) in adjuvant anti-gastrointestinal cancer therapy: A systematic review and network meta-analysis. <u>Pharmacol Res</u> . 2018 Jun;132:80-89 IF 4.408
前立腺がん	Huaier suppresses proliferative and metastatic potential of prostate cancer PC3 cells via downregulation of Lamin B1 and induction of autophagy. <u>Oncol Rep</u> . 2018 Jun;39(6):3055-3063 IF 2.301
子宮頸がん	Huaier aqueous extract inhibits cervical cancer cell proliferation via JNK/p38 pathway. <u>Int J Oncol</u> . 2015 Sep;47(3):1054-60 IF 3.079
線維肉腫	Huaier aqueous extract induces apoptosis of human fibrosarcoma HT1080 cells through the mitochondrial pathway. <u>Oncol Lett</u> . 2015 Apr;9(4):1590-1596 IF 1.554
卵巣がん	Huaier aqueous extract inhibits ovarian cancer cell motility via the AKT/GSK3 β / β -catenin pathway. <u>PLoS One</u> . 2013 May 8;8(5):e63731 IF 2.766
メラノーマ	Effects of Huaier aqueous extract on proliferation and apoptosis in the melanoma cell line A875. <u>Acta Histochem</u> . 2013 Sep;115(7):705-11 IF 1.652

ファイアはまず肝細胞がんの手術後に対して大規模な臨床試験でその有益性が確認されました。そして、現在、その他のがんに対する臨床試験が進行中です。臨床試験は結果が出るまで数年以上を要します。

一方で、いろいろながんモデルを使用した動物実験や、in vitro（動物を用いない）の実験で、いろいろながんに対する有効性が推測されています。これを確認するためにも大規模な臨床試験が必要です。

しかし、ファイアの副作用はたくさんのんだ時に起こる下痢のみですから、いままでにある研究データからいろいろながんに対して試してみることをためらう理由はありません。

中国視察の際も、ファイアを多数使用している医師に、ファイアが有効なのはどのがんに対してですか？と質問をすると、「肝臓がんです」と即答しました。そして他のがんに対する有効性はないのですか？と質問を重ねると、「大規模な臨床試験を行っていないので、今の段階では患者さんにのんでもらって有効とは言い切れません」との回答でした。そこで、「自分や家族ががんになれば、肝臓がん以外のがんになれば、どうしますか？」と尋ねると、「副作用がないので、そして他のがんへの効果も期待できるのでのんびりみます」という答えでした。本当に大規模な臨床試験で確認する事を大切にしている素晴らしい医師だと思いました。

5 ファイアの抗がん作用に対する進行中の臨床試験

5-1 中国で進行中の大規模臨床試験

がん種 症例数	大規模臨床試験
乳がん 1184例	リンパ転移のあるII-III期トリプルネガティブ乳がんのフォローアップ臨床、31施設の多施設、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、パラレルコントロール臨床試験、1,184例。 (chictr.org.cn ChiCTR1800015390)
肺がん 1098例	肺がん術後の補助治療の管理に関する実地調査に基づく臨床研究、26施設、1,098例。 (chictr.org.cn ChiCTR1800016270)
消化管がん 840例	消化管悪性腫瘍の根治的切除後の再発・転移予防における臨床研究、16施設、840例。 (gov ID:NCT02975661)
結腸直腸がん 3060例	結腸直腸の術後再発予防の管理に関する実地調査に基づく臨床研究、34施設、3,060例。 (gov ID:NCT03349762)
肝がん 828例	局所アブレーション後の肝細胞がんの再発および転移予防における臨床研究、22施設、828例。 (govID:NCT03356236)

5-2 アメリカ臨床登録機構

Clinical Trials. gov 登録済 の臨床研究

Colorectal Cancer	Huaier Granule As Adjuvant Therapy for Colorectal Cancer After Radical Surgery
Colorectal Cancer	Adjuvant Chemotherapy Combined With Huaier Granule for Treating High-risk Stage II, Stage III Colorectal Cancer
Hepatic Carcinoma	Huaier Granule for Prevention of Disease Progression of Hepatocarcinoma After Non-radical Hepatectomy
Triple Negative Breast Cancer	Huaier Granule in Treating Women With Triple Negative Breast Cancer
Non-small Cell Lung Cancer	Huaier Granule for Prevention of Recurrence and Metastasis of Stage II and III Non-small Cell Lung Cancer (NSCLC)
Colorectal Cancer	Huaier Granules for Prevention of Recurrence and Metastasis of Colorectal Cancer Patients Following Radical Surgery
Hepatocarcinoma	Huaier Granule for Prevention of Recurrence and Metastasis of Hepatocarcinoma Following Local Ablation
Obstructive Jaundice	Investigating the Efficacy and Safety of the Combination Treatment of Huaier Granule and Biliary Drainage for MOJ
Breast Cancer	Neoadjuvant Chemotherapy With or Without Huaier Granule in Treating Women With Locally Advanced Breast Cancer That Can Be Removed By Surgery

6 抗がん領域以外での効果

6-1 乾癬に対してランダム化ダブルブラインド臨床試験で有効性を確認

● ランダム化ダブルブラインド研究で実証

A Randomized, Double-Blind, Controlled Clinical Study on the Curative Effect of Huaier on Mild-to-Moderate Psoriasis and an Experimental Study on the Proliferation of Hacat Cells
BioMed Research International Volume 2018, Article ID 2372895, IF 2.583

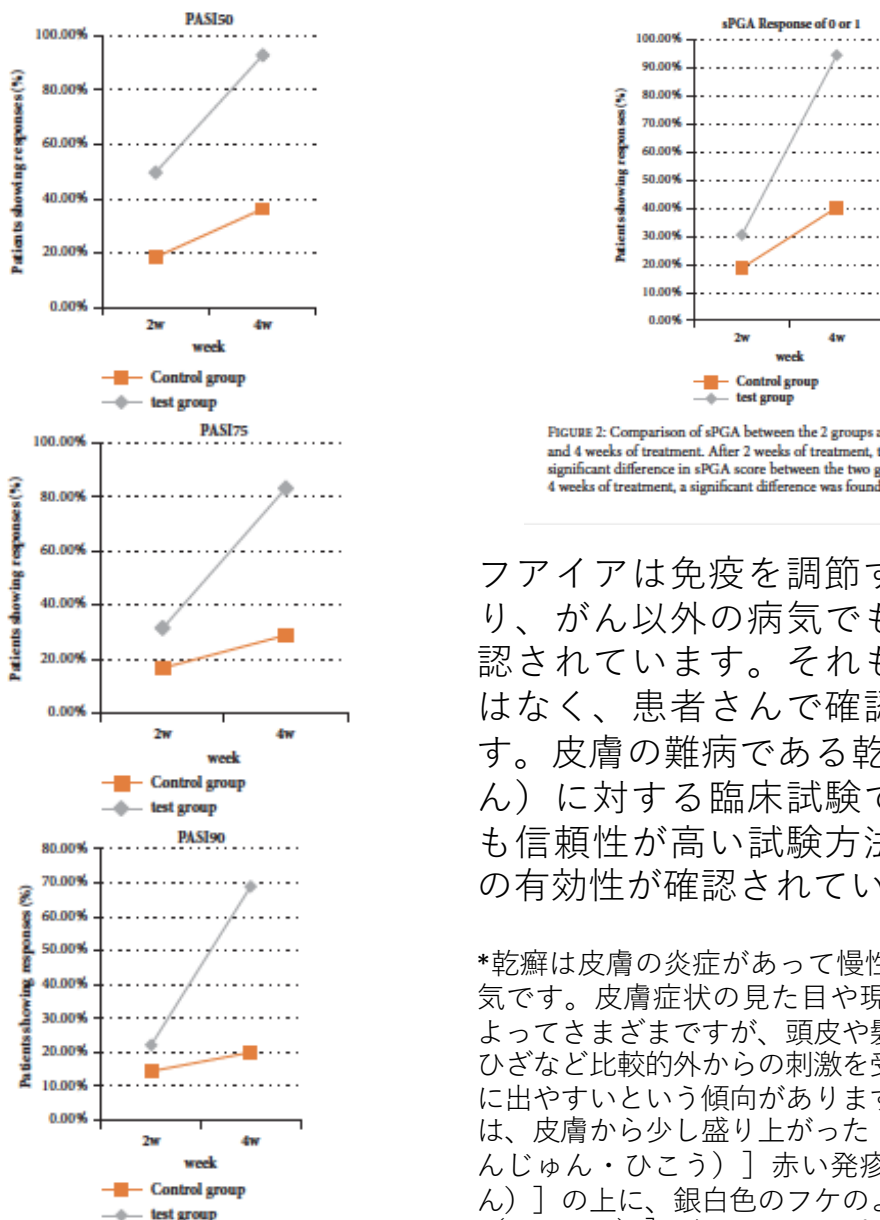


FIGURE 2: Comparison of sPGA between the 2 groups after 2 weeks and 4 weeks of treatment. After 2 weeks of treatment, there was no significant difference in sPGA score between the two groups. After 4 weeks of treatment, a significant difference was found ($P < 0.01$).

フアイアは免疫を調節する作用があり、がん以外の病気でも有効性が確認されています。それも動物実験ではなく、患者さんで確認されています。皮膚の難病である乾癬*（かんせん）に対する臨床試験でも、もっとも信頼性が高い試験方法でフアイアの有効性が確認されています。

*乾癬は皮膚の炎症があって慢性の経過をとる病気です。皮膚症状の見た目や現れる場所は人によってさまざまですが、頭皮や髪の毛の生え際、ひじ、ひざなど比較的外からの刺激を受けやすいところに出やすいという傾向があります。典型的な症状は、皮膚から少し盛り上がった [浸潤・肥厚（しんじゅん・ひこう）] 赤い発疹 [紅斑（こうはん）] の上に、銀白色のフケのようなもの [鱗屑（りんせつ）] がくっついてポロポロとはがれ落ちます。

FIGURE 1: Comparison of PASI between the 2 groups after 2 weeks and 4 weeks of treatment. After 2 weeks of treatment, there was no significant difference in PASI score between the two groups. After treatment for 4 weeks, the number of patients who achieved PASI 50, PASI 75, and PASI 90 was significantly different ($P < 0.01$).

6-2 IgA腎症に対してランダム化臨床試験で有効性を確認

● ランダム化研究で実証

Huai Qi Huang ameliorates proteinuria and hematuria in mild IgA nephropathy patients: a prospective randomized controlled study. *J Formos Med Assoc.* 2013 Dec;112(12):766-72 **IF 2.452**

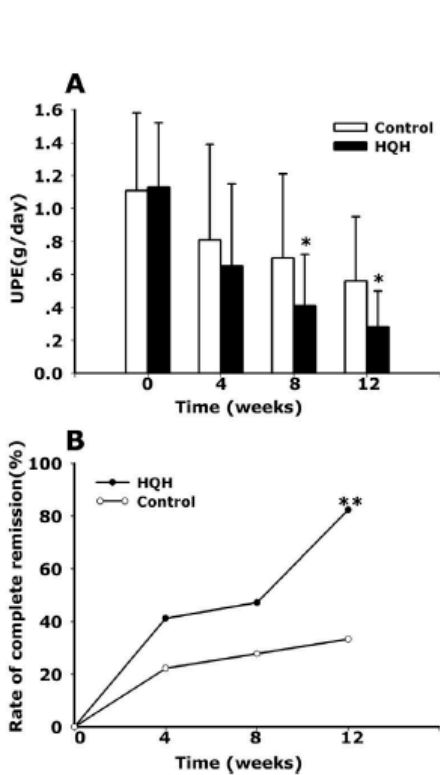


Figure 2 Twenty-four hour urinary protein excretion (UPE) and complete remission rate of proteinuria at Weeks 4, 8, and 12. The patients who presented only isolated hematuria were excluded in this statistic. (A) Twenty-four hour UPE was significantly lower than that in untreated group at 8 weeks ($p = 0.012$) and 12 weeks ($p = 0.014$). (B) The rate of complete remission of proteinuria was significantly increased at 12 weeks compared with that in control group ($p = 0.006$). HQH = Huai Qi Huang. * $p < 0.05$ versus control group. ** $p < 0.01$ versus control group.

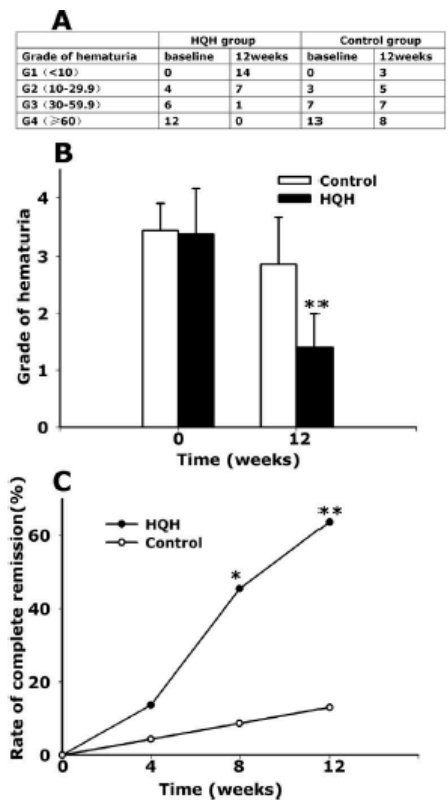


Figure 3 Hematuria grade and complete remission rate of hematuria. (A) The hematuria grade from the two groups before and after treatment for 12 weeks. (B) The extent of hematuria was significantly reduced at 12 weeks, compared with that in control group ($p < 0.001$). (C) The rate of complete remission of hematuria was significantly increased at 8 weeks ($p = 0.007$) and 12 weeks compared with that in control group ($p = 0.001$). HQH = Huai Qi Huang. * $p < 0.05$ versus control group. ** $p < 0.01$ versus control group.

ファイアがIgA腎症*にも有効であることを示す、相当信用性が高い臨床試験です。ファイアには免疫を調節する作用があるので、さまざまな分野に応用でき、また歴史的に見ると、健康維持のためにも使用されているので、今後の展開が楽しみです。

*IgA腎症は、検尿で血尿や蛋白尿を認め、腎臓の糸球体に免疫グロブリンのIgAという蛋白が沈着する病気多くは慢性の経過をたどります。

6-3 抗がん領域以外の成果

効果のある領域	臨床成果
喘息	Huai Qi Huang corrects the balance of Th1/Th2 and Treg/Th17 in an ovalbumin-induced asthma mouse model. <u>Biosci Rep.</u> 2017 Dec 22; 37(6) IF 2.899
高脂血症	Beneficial effects of Huaiqihuang on hyperglycemia-induced MPC5 podocyte dysfunction through the suppression of mitochondrial dysfunction and endoplasmic reticulum stress. <u>Mol Med Rep.</u> 2017 Aug;16(2):1465-1471 IF 1.922
たんぱく尿	Huaiqihuang may protect from proteinuria by resisting MPC5 podocyte damage via targeting p-ERK/CHOP pathway. <u>Bosn J Basic Med Sci.</u> 2016 Aug; 16(3): 193–200 IF 1.432
IgA腎症	Huai Qi Huang ameliorates proteinuria and hematuria in mild IgA nephropathy patients: a prospective randomized controlled study. <u>J Formos Med Assoc.</u> 2013 Dec;112(12):766-72 IF 2.452

7 中国での効果・効能

販売名	成分	効果・効能
Huaier	フアエア単独	原発性肝がん、胃がん、腸がん、乳がん、腹部膨満、疲労、息切れ、咳、痰、胸痛、QOLの上昇など
Huai Qi Huang	フアエア +枸杞子+黄精	強弱体質、高齢者の諸症状、めまい、疲労感、息切れ、動悸、食欲不振、便秘、衰弱など

- 中国ではフアエアは肝臓がん、胃がん、大腸がん、肺がん、乳がんで医療保険が適用されています。肝臓がんでは手術後6ヶ月医療保険が適用されています。

注) しかし、病気の進行度、地域や保険の種類により保険適用の対応は異なることがあります。
一部地域では、フアエアは膵臓がん、前立腺がん、膀胱がん、甲状腺がんにも医療保険の適用になっています。

8 ファイアの歴史

ファイアの中国語の読み（ピンイン）はHuaierです。ファイアは槐（えんじゅ）の老木に生えるキノコです。

ファイアは中国の古書にも登場する生薬です。東晋時代（317年～420年）の「肘後備急方」に記載が見られ、明代の李時珍が書いた「本草綱目」にも登場します。そしてしばらく姿を消しました。そのファイアが1980年代に上海がん病院（現復旦大学附属腫瘍病院）に入院していた原発性肝臓がんの患者を完治させました。この西洋医の目線からすると奇蹟のようなことに着目し、中国政府は、産官学の連携にて新薬を開発しました。そして1992年に進行性肝臓がんの治療薬として承認されました。槐の老木にしか寄生しないキノコであるファイアは、稀少にて大量消費にはまったく向きません。そこでこの菌糸体を増殖させ、培養して、エキス化したものが現代のファイアです。よって現代のファイアはすべての製造工程が工場で完結しますので永続的に生産が可能で、製品の均質性が担保され、効果と安全性が保証されています。

槐の老木に寄生する昔ながらの天然キノコと、今日臨床で使用されているファイアを敢えて区別したいので、ファイアと「カタカナ」で表記します。

ファイアの抗がん効果は、約1,000例の肝臓がんを対象にした臨床試験で確認され一流英文誌 GUT に2018年11月に掲載されました。そして、現在、乳がん、肺がん、大腸がんなど、いつくもの臨床研究が進んでいます。副作用は大量投与時の下痢です。その他の有害事象は吐き気と嘔吐が少数例で報告されています。ファイアもタンパク成分を含有しているのでアレルギー反応が起きそうですが、現在まで重篤なアレルギー反応の報告はありません。

ファイアの中国での登録商標は金克で中国語の読み（ピンイン）はJinkeです。中国での薬登録番号はZ-20000109です。主にがんに使用されています。肝臓がん以外にも臨床応用が始まりました。そして、さまざまな領域の悪性腫瘍で効果が認められています。主成分は、PS-T(Polysaccharide-Trametes robiniophilal Murr) という6種類の糖と18種類のアミノ酸が結合した多糖蛋白です。

ファイアに生薬の黄精と枸杞子を加えたものは槐杞黄で中国語の読みはHuai Qi Huangです。槐杞黄は主として呼吸器疾患や腎疾患、皮膚疾患の治療や体質改善に使用されています。こちらの薬登録番号はB-20020074です。



◎ 天然のフアiaを求めて安国（中国）へ

フアiaは顆粒で、工場で菌糸体から作られています。私たちは槐の老木に寄生するキノコであるフアiaを見たことがありませんでした。研究会ではなんとか幻の天然フアiaを見たいと思い、2019年6月に中国北京に渡りました。北京から車で5時間ぐらい走ると安国という生薬の町があります。沢山の生薬問屋さんを訪ねましたが、その存在は知っていても、それを見た人を探し出すことが出来ませんでした。その中にもものすごく稀な生薬ばかり扱っている問屋さんを紹介して頂きました。そして、沢山の生薬の並ぶ中から、私たちはついに天然のフアiaを見つけることができました。本当に嬉しい瞬間でした。



注) このパンフレットでは、「癌」、「がん」、「ガン」の使い分けは、固有名詞である「日本癌治療学会」などを除いて、「がん」という文言に統一しています。



日本フアイア研究会



理事長	松井 淳一	東京歯科大学副学長 東京歯科大学外科主任教授
発起人・理事	古川 俊治	参議院議員 慶應義塾大学医学部教授
理事	北川 雄光	日本癌治療学会理事長 慶應義塾大学病院長
理事	吉田 和弘	2019年 日本癌治療学会会長 岐阜大学病院院長
理事	林 隆一	2021年 日本癌治療学会会長 国立がんセンター東病院副院長
学術担当理事	新見 正則	公益財団法人愛世会フアイア研究所開設準備室 帝京大学医学部大学院東洋医学講座指導教授
学術担当理事	中山今日子	公益財団法人愛世会フアイア研究所開設準備室 薬剤師、漢方薬・生薬認定薬剤師
監事	山下 貴子	東京歯科大学市川総合病院

監修

日本フアイア研究会

帝京大学医学部博士課程東洋医学講座

公益財団法人愛世会フアイア研究所開設準備室

新見 正則

2019年 第 57 回 日本癌治療学会学術集会 学術セミナー 別冊

発行

公益財団法人愛世会フアイア研究所開設準備室